**小平市地域自立支援協議会第１回全体会議事要録**

**【日　　時】**　令和元年５月２７日（月）午後２時～４時

**【会　　場】**小平市健康福祉事務センター２階第３・４会議室

**【出 席 者】**１３人

**【欠 席 者】**２人

**【傍　 聴】**４人（ほか支援者１人）

**【配付資料】**

1. 小平市地域自立支援協議会第１回全体会次第
2. 令和元（２０１９）年度　小平市地域自立支援協議会　委員一覧表

（資料１）

1. 令和元（２０１９）年度　小平市地域自立支援協議会　会議開催一覧

（資料２）

1. 平成３０年度小平市地域自立支援協議会実績報告（案） 　（資料３）
2. 小平市地域自立支援協議会　第４期　討議の達成度

（平成３０年度まで）　　　　　　　　　　　　　　　　　（資料４）

1. 小平市地域自立支援協議会　困難事例提案の流れ　　　　（資料５）

幹事会における過去の困難事例の検討事案一覧

（平成３０年度第２回幹事会資料）

1. 小平市地域自立支援協議会　第１回幹事会開催報告　　　（資料６）
2. 日中サービス支援型共同生活援助（グループホーム）の創設に伴う地域自立支援協議会への報告制度とその対応について　　　（資料７）
3. 小平市における医療的ケア児の人数把握に係るアンケート集計のまとめ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（資料番号なし）

（10）平成３１年度第１回相談支援事業所ワーキング記録

（資料番号なし）

**【内　　容】**

**１　開会**

会長より開会が宣言された。

**２　委員の交代について（市より）**

３人の委員が人事異動により退任したため、後任を２人選任した。

１人については、当面欠員とする。

なお、Ｂ委員については、今年度より他校へ転任となったが、今期の委員は継続する。

**３　新委員挨拶**

新委員より挨拶が行われた。

**４　委員及び事務局挨拶**

各委員より挨拶が行われた。

**５　配付資料の確認**

事務局より資料の確認があった。

**６　日中サービス支援型共同生活援助（グループホーム）の創設に伴う地域自立支援協議会への報告制度とその対応について**

事務局より、資料７に基づき、グループホームの特性、地域自立支援協議会への報告制度、協議会としての対応（評価の視点、スケージュールなど）、他の自治体の先行事例について説明があった。

質疑応答

【Ｍ委員】　地域の方々への説明、入居者の応募方法や入居の決定の仕方、介護保険のサービスとの併用についてはどうなっているか。

【事務局】　住民説明会は未実施。地域の理解はまだ得ていない状態。入居に関しては、市や相談支援事業所などへの相談をとおし、事業者が決定する。小平市在住の方のみではなく、市外在住の方も対象となる。

【Ｅ委員】　障害福祉計画では、入所施設から地域への移行を推奨しているが、ミニ施設のようなグループホームを作ることとの整合性について確認したい。

【事務局】　現場の声を聴いていると、例えば現状では、体調不良で日中活動の場へ通所できない場合、グループホームに住んでいても日中は世話人がいないため、自宅に帰らなければならないなどの課題がある。あらゆるニーズに対応できる場所が必要であると感じる。

【Ｅ委員】　施設から地域へという流れのなかでこのような新たな施設ができることに違和感があったが、確かに柔軟に対応できる場が必要である。また、障がい者の方が振り回されないよう地域自立支援協議会で精査していくことが必要であると感じた。

【会　長】　重要な視点である。住み慣れた地域で暮らしていくのが理想だが、現状では家族にしわ寄せが行っている。地域自立支援協議会でもチェック機能として状況を確認していく。

**７　医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置について**

事務局より資料に基づき、関係機関の協議の場「医療的ケア児を支援する連絡会」の設置、参加予定機関、市が実施した医療的ケア児の人数把握に係るアンケートの集計結果について報告があった。話し合う場として、年３回開催を予定している。

質疑応答

【会　長】　現場の声を大事にしながら、協議の場でなく連絡会から始めていくとのことだが、委員報酬等の費用負担について知りたい。

【事務局】　連絡会と称するが協議の場の設置であると捉えている。顔の見える関係性の構築をめざし、報酬はなしで集まってもらう。少しばかり予算があるが、視察や講演会等で有効活用していく。

**８　児童発達支援センター検討委員会報告書について**

事務局より、資料８及び報告書に基づき説明があった。

質疑応答

【副会長】　職員体制等については決まっているか。

【事務局】　検討中。職種に関しては、公認心理士などの心理職、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士などの専門職が想定される。

【Ｈ委員】 サービス量（スケールメリット、規模）や利用人数等について見通しはあるか。

【事務局】　検討中。

【Ｌ委員】　留意事項３にある自立訓練について、廃止となると市内の自立訓練の事業所が３か所から２か所に減るのか。

【事務局】　あおぞら福祉センターと統合となり、事業所が２か所となる。現在の利用状況を鑑みると、利用定員でカバーできる。

【Ｇ委員】　検討委員だったが、今後整備を進めるにあたり、関係機関で連携しながら取り組んでいくことを望む。

【Ｄ委員】 定員だけでなく、通所の保証を検討してほしい。また、報告書６頁の３にあるトライアングルプロジェクトについて説明してほしい。

【事務局】　１点目について、現状では定員を満たしていないので、統合しても足りるのではないか。２点目についてだが、切れ目のない支援を行っていくためには、教育と福祉の連携が喫緊の課題となっているため、トライアングルプロジェクトを参考にしながら進めていく。

【Ｅ委員】　たいよう福祉センターは小川西町の地域に根ざした施設である。その点を鑑みながら進めてほしい。

【事務局】　地域での活用はこれまでどおりにしたいと考えている。

**９　小平市障がい者福祉計画・第六期小平市障害福祉計画・第二期小平市障害児福祉計画策定のための実態調査の実施について**

事務局より説明があった（資料なし）。

令和元年度は、実態調査を秋に実施する。障がい特性に応じた調査票を５種類作成し、発達障がいを対象とした調査票を除き、手帳所持者等から3,000人を無作為抽出し郵送配布・回収を行う。障害者差別解消法や理解啓発に関する設問を、他の自治体の調査を参考に５問程度加えていく。

令和２年度には、次期計画を策定する。素案に対しパブリックコメントを実施するほか、市民懇談会や知的障がいの方を主な対象とする「わかりやすい説明会」を開催する予定。

実態調査結果報告書及び計画書については、デイジー版も作成していく。

質疑応答

【Ｄ委員】　小平市障害者団体連絡会が実施する障害者差別解消法に関するアンケートについては、幹事会において、地域自立支援協議会も協力することとなった。小平市障害者団体連絡会で調査書を作成し、報告していく。

【会　長】　内容を確認し、必要な項目をより良いものにしていく。

【副会長】　精神障がい者に対するアンケート調査結果について、他の障がいと比較し回収率が低いが、その理由と回収率を上げるための考えはあるか。

【事務局】　病状や関心が低いなど障がい特性によるものと考えるが、有効な対策はないと捉えている。３，０００人を障がい者数で案分するのではなく、精神障がいへ少しウエイトを置くことも考えたい。

【会　長】　地域自立支援協議会でも、アンケート調査票を確認し検討していきたい。

**10　困難事例の提案の流れについて**

Ｉ委員より、資料５及び平成３０年度第２回幹事会資料に基づき報告があった。

**11　幹事会、部会、ワーキング開催報告**

（１）幹事会

４月１５日（月）に開催した第１回幹事会について、Ｉ委員より資料６に基づき説明があった。

（２）地域部会

部会長（副会長）より説明、今年度は年３回開催を予定している。本日の第１回では、市内４事業所のサービス管理責任者及び相談支援専門員の交流会を初めて開催する。

（３）当事者・情報部会

４月１５日（月）に第１回を開催。Ｉ委員より報告、Ｄ委員より補足説明があった。

（４）相談支援ワーキング

４月２５日（木）に開催した第１回について、Ｋ委員より当日の記録に基づき説明があった。

**12　平成３０年度小平市地域自立支援協議会実績報告（案）について**

Ｈ委員より、資料３に基づき報告があった。

【Ｄ委員】　当事者ワーキングの場所と内容について訂正がある。

【Ｈ委員】　訂正をするが、訂正後のものを再度配付するかどうかは、事務　　局で検討する。

**13　令和元年度小平市地域自立支援協議会開催日程及び討議テーマについて**

事務局より、資料２の会議開催日程及び討議テーマについて説明があった。

**14　その他**

（１）小平市障害者団体連絡会の差別解消法アンケートの配付・回収・分析に関して、地域自立支援協議会でも可能な範囲で協力していく。

（２）報告事項

① Ｉ委員より、市役所販売について案内あり。

② 事務局より、オリンピックに向けた東京都発行の東京観光バリアフリー情報ガイドについて、希望者に配付可能と案内あり。

③ Ｈ委員より、医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置について、進んでない地域があるとの報告。

④ Ｉ委員より、小平特別支援学校進路セミナーについて案内あり。

⑤ Ｄ委員より、６／２６小障連総会・シンポジウム及び当事者ワーキング部会のチラシについて、完成次第郵送予定。

（３）情報提供

特になし。

**15　今後の予定**

（１）地域部会　第１回（拡大会議）

令和元年５月２７日（月）午後５時～

健康福祉事務センター第３・４会議室（２階）

サービス管理責任者、相談支援専門員の交流会

（２）当事者・情報部会ワーキング

令和元年７月２０日（土）午後１時３０分～３時３０分

中央公民館

（３）相談支援ワーキング

令和元年７月２３日（火）午前１０時～正午

健康福祉事務センター第３・４会議室（２階）

（４）当事者・情報部会

令和元年７月２６日（金）午前１０時～正午

健康福祉事務センター第３・４会議室（２階）

（５）幹事会　第２回

令和元年７月２６日（金）午後２時～４時

健康福祉事務センター第３・４会議室（２階）

**16　閉会**